

練馬区外郭団体中期経営計画の達成状況

団体名	一般社団法人 練馬区産業振興公社	団体所管課	産業経済部経済課
-----	------------------	-------	----------

経営計画期間	令和 7 年度 ～ 10 年度	※計画期間は4年間(令和7～10年度)、年度別計画は2年間(令和7～8年度)
--------	-----------------	--

団体の目指す将来像

区との密接な連携の下、産業振興施策の中核的機能を担うとともに、区内経済団体と連携協力して多様で専門性の高い事業を展開し、地域経済の活性化に寄与する。

区の外郭団体としての公共性や安定性を基盤に、区内事業者・勤労者等のための活力ある魅力的な事業を展開する。

取り組みを進めるうえでの「基本の方針」

1 練馬ビジネスサポートセンターは、「創業！ねりま塾」の見直しや創業相談の継続実施、SNSでの周知強化を進めるとともに、出張相談によるDX・省力化支援を通じて経営の効率化を促進する。併せて、事業承継・清算の課題に対し、助言と支援機関との連携により、適切に対応する。

2 区民・産業プラザは、設備更新計画の策定・実行を通じて施設環境を充実し、小売事業者支援やイベント発信、デジタルサイネージによる集客力の強化に取り組む。併せて、新システムやファミリーパック事業へキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性を高める。

3 ねりま観光センターは、練馬の魅力を再発見し、新たなツアーを企画・実行するとともに、ホームページの多言語化や映像強化による情報発信を充実する。併せて、検討会議の方針に基づき、観光案内所の機能・サービスを強化する。

4 ねりまファミリーパックは、周知体制の強化により会員数を増やし、地域密着型事業の参加促進に取り組むとともに、事業メニューと補助ルールの整備により、会費・広告料などの財源確保を図る。

区が外郭団体に求めるもの

産業振興公社は引き続き、区民・産業プラザを拠点として区の産業振興施策を展開する。その際、外郭団体の特性を活かした柔軟で機敏な事業を実施し、区内産業経済団体と連携した地域経済活性化への取組を進めていく。

団体の達成状況の評価

外郭団体は、経営計画の取組や達成状況を毎年度、評価する。団体が行う達成状況の評価は、つぎの3段階で評価する。

「A」 計画以上に進んだもの

「B」 概ね計画どおりのもの

「C」 計画どおりに進んでいないもの

団体所管課の評価

団体所管課は、年度終了後、団体の取組や達成状況などから、年度の評価を行う。

事業1	練馬ビジネスサポートセンター(ネリサポ)
取組内容	①「創業！ねりま塾」の体系を見直すとともに、起業・創業者の相談業務を継続して実施する。 ②相談利用者へのフォローとして出張相談業務を実施し、DX・省力化のメリットを伝えることで、経営拡大につなげるとともに、事業の効率化や生産性向上を図る。 ③各種セミナーや相談業務を通じて明らかになった事業者の事業承継、清算などについて、助言するとともに、金融機関等の事業者支援機関に適切に引き継ぐ。

目標①	起業・創業者への支援 年間創業者数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	60人	60人		
実績	62人			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	創業の準備段階に応じた コースを年2回に拡充した ため。			

目標②	事業拡大に取り組む事業者への支援 出張によるDX・省力化の相談業務			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	検討	実施		
実績	検討			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考	DX・省力化にとどまらない 経営全般を対象とするアウ トリーチ型の相談支援の実 施を検討したため。			

目標③	転換期を迎えた事業者への支援 事業継続に関する相談件数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	80件	100件		
実績	87件			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

取組内容の評価(7年度)	
団体	「創業！ねりま塾」の体系の見直しを行い、創業の準備段階に応じたコースを年1回から2回に拡充し、参加者の裾野を広げたことで、年間創業者数は62人と目標を達成した。今後も起業・創業はもとより丁寧な相談事業に取り組む。 事業所実態調査において、半数を超える区内事業者が事業計画を策定していないことが明らかとなったことから、経営全般を対象とするアウトリーチ型の相談支援を検討し、8年度から実施することとした。ネリサポ相談員が企業の現場に訪問し、幅広い相談に対応することで、企業の成長につなげていく。 経営者の高齢化を踏まえ、事業承継に関するセミナーや産業情報紙により周知し、実情に応じた経営相談に取り組んだことで目標を達成した。今後も、情報提供を継続するとともに、関係機関と連携した相談支援に取り組む。 引き続き、起業・創業から事業成長、事業承継まで各段階に応じた丁寧な支援に取り組んでいく。
事業所管課	起業・創業支援においては、「創業！ねりま塾」の体系を見直し、実施回数の拡大や講義内容を改善した結果、目標を達成したことを評価する。引き続き、相談事業と連携し、起業・創業支援に取り組まれない。 アウトリーチ型相談支援により、これまで利用のなかった事業者へ働きかけを行い、適切な支援につなげていく取組を8年度から実施することを評価する。今後、様々な経営課題の相談支援により、区内事業者の経営基盤の強化が図られることを期待する。 事業承継については、経営者の高齢化に対応した周知や相談が行われ、目標を達成している。ニーズが高まっている事業承継について、引き続き、関係機関と連携しながら、きめ細やかな支援に取り組まれない。 今後も、起業・創業から事業承継までの切れ目ない支援を継続し、寄り添った区内事業者の支援に着実に取り組むことを期待する。

事業2	区民・産業プラザ			
取組内容	①更新の優先度や費用負担等を区と協議し、設備や備品の更新計画を策定する。 ②内覧・相談会の実施やイベント情報の発信、デジタルサイネージの活用により集客力向上に取り組む。 ③新システムにおける利用料およびファミリーパック事業の支払いについてキャッシュレス決済を導入する。			
目標①	設備・備品の更新に向けた取組 設備・備品の更新に向けた更新計画の策定			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	検討	策定・実施		
実績	策定			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	「練馬区立区民・産業プラザ指定管理4期修繕・更新計画」策定したため。			
目標②	利用料収入の確保に向けた取組 産業イベントコーナーの年間利用率			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	65.0%	70.0%		
実績	73.5%			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	各種媒体による広告やイベント出展により認知度が向上し、計画を上回る利用率となったため。			
目標③	新システムによる利便性向上に向けた取組 キャッシュレス決済の導入			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	導入	運用		
実績	導入			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考	10月導入・運用開始したため。			

取組内容の評価(7年度)	
団体	設備・備品の修繕・更新計画を区と協議して策定し、対象設備の選定や更新の優先順位を決定するとともに、5か年に渡り計画的かつ効率的に実施していくこととした。当該計画に基づき、今後も良好な施設環境の維持に努めていく。 公社ホームページや利用者向けパンフレット、館内掲示による広告、練馬産業見本市の出展など利用促進に向けた周知・啓発により、産業イベントコーナーの利用率は目標を大きく上回った。引き続き、利用率の向上と施設の有効活用に取り組んでいく。 キャッシュレス決済の導入により、区民サービスと利便性の向上を図るとともに、新施設予約システムの運用開始について、利用案内パンフレットなどを活用して丁寧な周知・啓発に取り組んだ。 引き続き、計画的に設備・備品を更新し、施設の認知度向上に向けた取組に努めるとともに、デジタルを活用した利便性の向上に取り組んでいく。
事業 所管課	経年劣化している設備・備品について、更新の優先順位や時期を区と協議し、修繕・更新計画を策定したことを評価する。今後も適切な維持管理に努められたい。 様々な機会を捉えた周知・啓発により、産業イベントコーナーの利用率向上など利用促進の取組が成果を上げていることを評価する。今後も利用率の向上と施設の有効活用が図られることを期待する。 キャッシュレス決済や新施設予約システムの導入に伴い、利用者に丁寧かつ分かりやすい周知に努めたことを評価する。引き続き、利用者のニーズを見極めながら、利便性の向上に取り組まれない。 今後も施設の管理・運営を適切に行い、利用者満足度の向上を図るとともに、より多くの区民や事業者が利用できるよう、さらなる利用促進に取り組むことを期待する。

事業3	ねりま観光センター
取組内容	①練馬の未だ知れ渡っていない見どころや楽しみ方を再発見し、観光センターならではの新たなツアーを企画・実行する。 ②ホームページ「とっておきの練馬」をリニューアルし、映像やより制度の高い多言語等を追加することで、誰もが欲しい情報に容易にアクセスできるよう環境を整備する。 ③「練馬区観光案内所の在り方検討会議」の内容を踏まえた区の方針に沿って、観光案内所の機能やサービスを充実させていく。

目標①	ねりま観光ツアーの実施 ツアーの開催回数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	25回	30回		
実績	30回			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	親子対象のプロの指導によるお菓子作り体験等、集客力のあるツアーを企画したため。			

目標②	ホームページリニューアルによる情報発信の強化 サイトの閲覧数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	1,200,000件	1,300,000件		
実績	1,205,396件			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

目標③	観光案内所の機能の見直し 新たな方針に沿ったサービスの検討			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	実施	実施		
実績	実施			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

取組内容の評価(7年度)	
団体	ねりま観光ツアーについては、都市農業やインフラ施設見学、親子向け体験型企画など、地域資源を生かしたツアーを実施した。集客力のある内容としたことで、年間開催回数は目標を上回る実績となった。 リニューアルしたホームページ「とっておきの練馬」の情報発信では、ねりコレ2026商品の募集や区内イベント情報等の発信を強化し、年間PV数は目標を達成した。また、SNSによる映像を活かした発信強化により、Instagramのフォロワー数が増加するなど、新たな利用者層への情報発信にもつながった。 観光案内所の機能の見直しでは、ねりコレ2024商品紹介カードを製作し、購入者に商品のおすすめポイントや楽しみ方を伝え、制度の認知度向上ツールとして活用した。 今後は、ホームページとSNSそれぞれの特性を生かした情報発信を進めるとともに、観光案内所のサービス向上と観光ツアーの質的向上に継続して取り組んでいく。
事業 所管課	ねりま観光ツアーについては、多様な魅力あふれる、地域資源を生かした企画を実施した点を評価する。ツアー事業は今後、区外からの来訪者をターゲットとした「ようこそ練馬ぶらり旅」と並行して実施する運びとなる。参加者が練馬の多様な魅力を体感・体験できるよう、両ツアーの運営に努められたい。 ホームページについては、リニューアルおよびコンテンツの充実により、閲覧数が目標を達成したことだけでなく、ねりコレ選定商品の応募受付や観光ツアーのWEB申込開始など、利用者の利便性向上にも寄与したことを評価する。今後も、利用状況の分析を行いながら、効果的な情報発信につなげていくことを期待する。 観光案内所については、「商品紹介カード」を製作・配布し、購入者への紹介や売り場への展示といった具体的な取り組みを行ったことを評価する。今後、7年度 of 取組を検証しつつ、新たな広報ツールの導入などの物販機能の強化を期待する。また、利用者は商品購入だけではなく、区内観光情報や飲食店の情報なども求めており、引き続き丁寧な案内業務を実施されたい。 今後は、ツアー事業における新たな参加者層の開拓を進めるとともに、ホームページとSNSそれぞれの特性を生かした情報発信の連動強化や、観光案内所における丁寧な利用者対応を通じて、練馬の観光資源の魅力の効果的な発信と観光施策全体の質的向上に取り組まれたい。

事業4	ねりまファミリーパック
取組内容	①会員数確保のため、周知協力団体を増やすとともに、入会メリットを周知するなど、効果的な方法により事業所会員数の拡大に取り組む。 ②地域密着型の事業（共同メニュー）のうち、会員飲食店と連携した「ごはん＆スイーツ補助」の参加事業所の拡大を図る。 ③生活充実等の4つの事業で提供しているメニューを見直し、補助額・補助率のルールを作成するとともに、会員加入促進による会費や広告料の増収等の財源確保に努める。

目標①	会員の確保に向けた取組 新規入会事業所数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	30所	30所		
実績	53所			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	入会促進活動方針を策定し、福祉施設等への直接訪問など、事業所への勧誘活動を強化したため。			

目標②	会員事業所・区内経済団体との共同メニューの充実 「ごはん＆スイーツ補助」参加店舗数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	44店	46店		
実績	51店			
団体の達成 状況の評価	A 計画以上に進んだ			
備考	ねりコレ店など公社事業連携店舗で未加入の店舗にDMの発送や訪問による営業活動を行ったため。			

目標③	メニューの見直しと財源の確保			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	検討・実施	実施		
実績	検討・実施			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

取組内容の評価(7年度)	
団体	会員数を拡大するため、「入会促進活動方針」を策定し、医療・福祉系事業所を対象に営業活動を実施した結果、特別養護老人ホーム等の加入につながり、新規入会事業所数は、目標を大きく上回った。引き続き、訪問による積極的な働きかけにより、会員確保に努めていく。 「ごはん&スイーツ補助」では、飲食店への勧誘を強化した結果、目標を上回る店舗で実施できた。今後も、訪問による働きかけにより、参加事業所の拡大に取り組む。 会費収入が減少する中、補助額および補助率の均衡を踏まえたルールを定め、事業運営に取り組んだ結果、事業赤字を解消した。 今後も、新規会員の獲得と退会抑制に取り組むとともに、会員ニーズを踏まえたサービスの充実を図っていく。また、地域密着型事業を積極的に推進し、事業の魅力向上を図ることで、安定的な事業運営につなげていく。
事業所管課	事業所会員の拡大については、策定した方針に基づき、事業者への入会促進に取り組んだ結果、目標を上回る新規入会事業所を確保できたことを評価する。 「ごはん&スイーツ補助」についても、積極的な訪問・営業活動により、参加店舗数が目標を達成したことを評価する。 メニューの見直しと財源確保においては、補助内容に関する基準を定め、効率的な事業運営に取り組んだ結果、赤字を解消し、収支改善を達成したことを評価する。 引き続き、新規会員の獲得と退会抑制に取り組むとともに、地域密着型事業の充実や会員加入促進による財源確保を通じて、安定的な事業運営に取り組まれない。

財務・組織	公社の経営体制
取組内容	①経営戦略会議の下に設置している連絡協議会を再編し、新たな会議体による組織運営に取り組む。 ②独自財源の増収に向け、新たな財源の確保策を検討する。 ③効率的・持続的な組織運営のため、職員の配置計画を作成し、職員配置の適正化に取り組む。

目標①	経営戦略会議および新たな会議体の運営 新たな会議体の開催回数			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	4回	4回		
実績	4回			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

目標②	連携・協働事業の充実と新たな財源確保策の検討 新たな財源確保策			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	検討	実施		
実績	検討			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

目標③	計画的な運営による組織体制の強化 職員配置計画の作成			
年度別 取組計画	7年度	8年度	9年度	10年度
	作成	実施		
実績	作成			
団体の達成 状況の評価	B 概ね計画どおり			
備考				

取組内容の評価(7年度)	
団体	区と公社双方の幹部職員が話し合う経営戦略会議では、人員体制など公社の運営について意見交換した。また、改組後の新たな連携調整会議では、事業の進捗状況について区と協議し、ビジネスサポートセンターにおける補助事業等の方向性を確認することができた。引き続き、連携調整会議を活用し、区との連携を強化していく。 公社内の事業連携として、区民・産業プラザの認知度向上を図るため、産業振興公社主催イベントにおいて、ネリコレ店舗の出店やファミリーバック会員の募集、ビジネスサポートセンターの協力による被災地支援を実施した。 自動販売機による安定的な財源確保に努めるとともに、観光案内所において、季節感のあるディスプレイと品揃え、オリジナルグッズの開発など新たな財源確保策を検討した。 組織体制の強化については、職員配置計画を作成し、民間派遣職員を固有職員に置き換えるなど、人材派遣会社を活用した人員確保策を実施した。 今後は、区と密に連携しながら事業を推進するとともに、事業間連携による相乗効果を図っていく。また、安定的な財源確保と職員体制の整備を進め、効率的かつ持続的な組織運営につなげていく。
事業 所管課	経営戦略会議や連携調整会議を通じて、区と公社が連携して事業運営に関する認識を共有し、必要な調整が図られていることを評価する。 公社主催イベントにおける事業横断的連携だけでなく、財源の確保に向けて、オリジナルグッズの開発など、実現可能性の高い方策を検討しており、経営基盤強化に資する取組として評価する。 職員体制については、職員配置計画に基づき、派遣職員の活用を含めた人材確保策を継続して実施し、持続可能な組織運営に努めている。 引き続き、区と課題や進捗状況を共有しながら事業に取り組むとともに、事業相互の連携を強化し、新たな独自財源の確保に努められたい。併せて、計画的に有為な人材の確保および人員の配置を進め、組織体制の整備・強化を図られたい。